

エゾムシクイ

2018年5月1日13時15分、澄川の物置前の広場でヤナギの新芽をわたりながら虫を捜している小鳥をわがデジカメで撮影することに成功しました。

一羽はヤマガラだと判別できましたが、別の一羽は帰宅してパソコンで画面を拡大し、図鑑と比較しながらの判断でエゾムシクイと暫定しました。二羽のペアだったような鳥影でした。

センダイムシクイ、メボソムシクイとの区別は極めて難しく、愛用の「北海道野鳥図鑑」にこの3種の区別について、詳細な説明があるのですが、このデジカメの画像で、正確に同定するには無理があります。もっと鮮明な画像と鳴き声が聞こえると有難いのですが、この場面では鳴いてはくれませんでした。自信はありませんが、ムシクイにはちがいないので、エゾムシクイにしておきます。メボソとセンダイは過去に紹介しましたので、エゾであってほしい気持ちであります。

名前の頭にエゾがついていますが、北海道固有種ではありませんで、本州では中部以北、四国でも亜高山帯の森林で生息しているとのこと。サハリン南部や国後島にも稀に繁殖が確認されているらしいです。雌雄同色で外見での区別は困難です。囀ってくれればそいつがみななのであります。

澄川森林に通い始めて12年、百回以上にもなります。このところ年々鳥の声がさみしくなっていると感じております。鳥影に気づいてもその殆どがヒヨドリであったりするのです。



この日、この広場に植えたエゾヤマザクラが開花しはじめていました。植える時は幹の太さが測量ポールほどのものでしたが、今はワインボトルクラスにも太りました。あと数年で一升瓶ぐらいになるでしょうが、それを見届けられるかが傘寿に達した身の切なさであります。

澄川森林に通い始めて12年、百回以上にもなります。このところ年々鳥の声がさみしくなっていると感じております。鳥影に気づいてもその殆どがヒヨドリであったりするのです。